

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小松雅代.	ICFの活用の現状と今後の展望.	日本診療情報管理学会誌.	32(4)	3-8.	2021

雑誌

発表者氏名	タイトル名	発表学会	巻号
大冢賀政昭、渡邊直、柴山志穂美、坂田薫.	生活機能サマリー, ICFに準拠した標準化への取り組み.	第40回医療情報学連合大会・第21回日本医療情報学会学術大会	2020. 11. 18-22
松本将八、木下隆志、筒井孝子.	WHO-DAS2.0を用いた障がい福祉サービスにおける適正なサービスのための職員育成—就労継続支援B型への適用—.	第9回ICFシンポジウム.	2021.2.20
徳永亜希雄、田中浩二、大冢賀政昭.	子どもの育ちを切れ目なく支えるICFを活用した共通情報シート開発に向けた基礎的研究—保育所及び知的障害特別支援学校の内容とICFのマッピング作業を通して—.	第9回ICFシンポジウム.	2021.2.20
高橋秀人、大冢賀政昭、重田史絵.	福祉領域におけるICFを用いた評価の確立に関する研究.	第9回ICFシンポジウム.	2021.2.20
高橋秀人、重田史絵、大冢賀政昭、田宮菜奈子.	国際生活機能分類(ICF)に基づく社会統計の特徴化—生活のしづらさ調査を例に.	第79回日本公衆衛生学会総会	2020. 11. 28-29
高橋秀人、重田史絵、大冢賀政昭.	アウトカム指標として国際生活機能分類(ICF)を用いた福祉領域に関する文献研究.	第31回疫学会抄録	2020. 11. 28-29
Takahashi H, Otaga M, Shigeta F.	ICF classification for indices concerning preventing poverty.	WHO-FIC Network Annual Meeting 2020	2020. 10. 19-23
向野雅彦.	ICFの国内普及に向けた臨床ツール作成.	第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	2020. 10
向野雅彦.	ICFのコーディングシステムをリハビリテーションの現場でどのように活用するのか.	リハビリテーション連携科学学会第22回大会	2021. 3